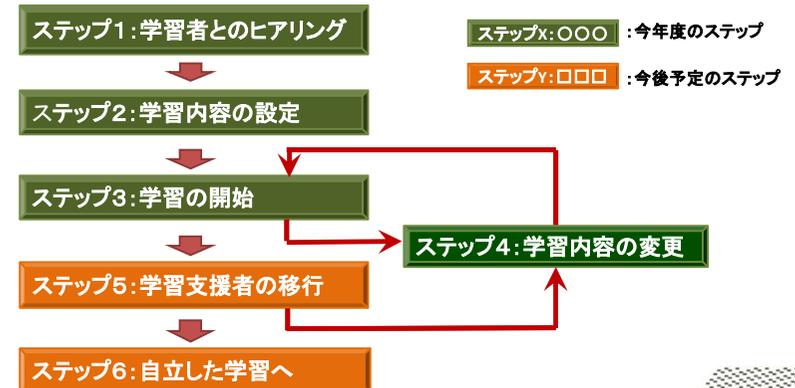


まとめと今後の展望

2023年2月9日
株式会社CMU Holdings

ICT活用生涯学習の進行ステップ(仮説)



今年度のまとめ

● 成果概要

- ・3つの生活介護事業所において、3名の学習支援者によって「ICTを活用した学び」を開始することができた。
- ・得られたノウハウを参考に、マニュアルの一つになるよう「ICTを活用した生涯学習の進行ステップ」を想定した。(後述)

● 今後の課題

- ・進行ステップを各方面のご協力のもと実行して、「生活介護事業所でのICTを活用した学び」が広がり、持続可能になる方法を模索する。
- ・「生活介護事業所でのICTを活用した学び」にゴールはないが、自立した学習ができるようになることが、生きがいにつながるか模索する。

ステップ1:学習者とのヒアリング



■ 参加者

学習者/施設職員、初期対応メンバー(現時点では小園/徳田/津田。
障害者理解、PC、iPad、学習アプリ、支援機器等のノウハウを持つ)

■ ヒアリング内容(学習者一人ひとりについて)

- ① 身体やコミュニケーションの状況は？
- ② 学校でまたは個人的に、どのようにICT機器を使っていたか？
- ③ どんな学習がしたいか(相応しいか)？リモートがよいか訪問か？
- ④ どんなICT機器を使うか？本人または施設で準備可能か？
- ⑤ ICT活用で支援機器を使用しているか？新たに試す必要あるか？
- ⑥ **どんな生活環境か、趣味や好きなことは何か？**

➡ **【学校と施設との接続で、進路教諭にも参加いただけるとよい！】**

ステップ2:学習内容の設定



■学習内容設定の方針

- ① コミュニケーションが難しい場合、学習時は施設職員にも付いていただくのがよい
なおPC操作にある程度慣れており、コミュニケーションが良好の場合は、**コロナ禍の社会参加に適するリモート学習**を検討する
- ② officeソフト、SNS、ゲーム、生活用アプリなどで本人や職員が希望するものを決める。なお、**興味を継続するために生活や趣味に関連するよう配慮する**
- ③ iPadあるいはパソコンは、できれば自前で用意することが望ましいが、無理な場合はレンタルを検討する
- ④ 支援機器が必要で、初期対応メンバーにノウハウがない場合は、**専門業者に訪問サポートを依頼する**(今年度は依頼ナシ)

ステップ4:学習内容の変更



・設定した学習内容が一通り終わったり、興味が変わったりした場合は、**新たなテーマを設定して学びを継続する**

・あらためて**学習支援者が本人や施設職員とヒアリング**して、学習内容を設定する



ステップ3に戻って、サイクルを繰り返す

ステップ3:学習の開始



・学習の初期段階は、**原則、初期対応メンバー**が学習支援をおこない、ICT支援機器や設定した学習内容が妥当か試行する

・意識的に本人や職員と雑談を多くしたり、**表情の読み取りをして**、学習が本人の成長に妥当か、本人が興味を持てる内容か、他に適切な学習内容があるかなどを常に探るのがコツ

➡ **【学習が継続するためのコツであり、難しい点でもある】**

ステップ5:学習支援者の移行



・既の実施している施設でのICT学習支援を継続し、さらに他の多くの施設にも学習支援が広がっていくためには、**新たな学習支援者が加わって移行していく必要がある**

・**学習内容に沿った学習支援者をアサイン**する。“ICTを教える”のではなく、“一緒に楽しく学んで成長する、**伴走者になろう**”と思っていた方が参加していただけるとよい

【新たな学習支援者は、元教員、保護者、施設職員、福祉系学生などが相応しいか?】⇒今後の課題:ご協力お願いします!

・初期対応メンバーは、**新たな学習支援者に、試行したノウハウを伝授し、慣れるまでは一緒に学習支援する**

ステップ6: 自立した学習へ



・本人がICTの使い方や学び方に慣れてきて、自分自身で学習が進められるようになったら、少しずつ学習支援者の関与を減らす。
自立(自己決定)して学べるようになるのが望ましい。

・施設における日常活動の中で、本人と職員とで一緒に学習することができるようになれば、持続可能な生涯学習体制になるのではないかな。



・学びを通じてできることも増えてくるので、将来的には《ICTを活用して施設の中で何らかの役割を担う、誰かの役に立つ》ことに繋がることを目指したい。